

主食用米の販売動向（米穀卸売業界調査）

〔調査の概要〕

全国米穀販売事業共済協同組合が、米穀の販売・需要動向を多角的に把握することを目的として、同組合会員企業を対象に実施。四半期ごとに継続的に調査。（アンケート回答数 60組合員）

1. 現在（令和6年3月）の米販売量（前年同月との比較）

集計結果	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
	100.0%	20.0%	25.0%	28.3%	6.72%	20.0%

<仕向先別>

(小売店向け)	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
大手スーパー	100.0%	29.3%	22.0%	29.3%	17.1%	2.4%
中小スーパー	100.0%	19.0%	24.1%	29.3%	13.8%	13.8%
米穀専門店	100.0%	5.4%	7.1%	42.9%	26.8%	17.9%
その他	100.0%	21.7%	13.0%	26.1%	8.7%	30.4%

(外食産業向け)	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
外食向け	100.0%	8.8%	36.8%	43.9%	5.3%	5.3%
中食向け	100.0%	1.8%	22.8%	59.6%	5.3%	10.5%
給食向け	100.0%	3.3%	11.7%	70.0%	8.3%	6.7%

* 1. 赤字は、最頻値及びD I 値。

2. D I (diffusion index) の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0~1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてD I 値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

2. 米販売の動き：過去3ヶ月前との比較 / 3ヶ月後の見通し

(1) 過去3ヶ月前（令和5年12月）と比較した令和6年3月の動き

合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	D I 値
100.0%	16.7%	23.3%	31.7%	11.7%	16.7%	52.9

(参考) 前回調査 令和5年9月と比較した令和5年12月の動き

100.0%	13.8%	34.5%	34.5%	10.3%	6.9%	59.5
--------	-------	--------------	--------------	-------	------	-------------

(2) 令和6年3月から3ヶ月後（令和6年6月頃）の見通し

合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	D I 値
100.0%	3.3%	16.7%	31.7%	41.7%	6.7%	42.1

(参考) 前回調査 令和5年12月から3ヶ月後（令和6年3月頃）の見通し

100.0%	1.7%	31.0%	29.3%	36.2%	1.7%	48.7
--------	------	-------	-------	--------------	------	-------------

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各D I 値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
D I 値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				